暴力団等に該当しない旨の誓約書

私（当法人・当組合を含む。）は、都市計画法に基づく開発許可申請を行うに当たって、次の事項について誓約します。

　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

　また、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

１　私（当法人・当組合を含む。役職・氏名等は次表のとおり。）は次の（1）から（4）のいずれにも該当しません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 役職 |  | 生年月日 | 住所 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　　※法人又は組合の場合は、役員の役職・氏名等についても記載すること。

(1)　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号。以下「法」という。）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

(2)　暴力団員（法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は、暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者。

(3)　法人又は組合であって、その役員のうちに(2)に該当する者があるもの

(4)　暴力団員等がその事業活動を支配する者

２　１の誓約事項に反した場合若しくは誓約が虚偽であった場合、許可取消しの措置を受けた時は、これに異議なく応じます。

　　年　　月　　日

野々市市長　粟　　　貴　章　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住所 |  |  |
| 氏名 |  |  |
| （法人・組合にあっては、名称及び代表者氏名） | | |